

地方独立行政法人福岡市立病院機構  
平成25年度の業務実績に関する評価結果報告書

平成26年8月

地方独立行政法人福岡市立病院機構評価委員会

## 目 次

はじめに	1
第1項 全体評価	2
第2項 項目別評価	4
(1) 大項目評価	
第1 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置	4
第2 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためとるべき措置	6
第3 財務内容の改善に関する目標を達成するためとるべき措置	7
第4 その他業務運営に関する重要事項を達成するためとるべき措置	8
(2) 小項目評価	
第1 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置	
1 医療サービス	20
2 患者サービス	36
3 医療の質の向上	44
第2 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためにとるべき措置	
1 自立性・機動性の高い運営管理体制の充実	54
2 事務部門等の専門性の向上	56
3 意欲を引き出す人事・給与制度等の導入	58
第3 財務内容の改善に関する目標を達成するためとるべき措置	
1 経営基盤の強化	60
2 収支改善	64
第4 その他業務運営に関する重要事項を達成するためとるべき措置	
1 新病院の整備及び運営に関する取組	78
2 福岡市民病院の経営改善の推進	80
〈参考資料〉	
○各小項目に対するウエイト付け	88
○地方独立行政法人福岡市立病院機構 業務実績評価の方針	90
○地方独立行政法人福岡市立病院機構 年度業務実績評価実施要領	92

## はじめに

地方独立行政法人福岡市立病院機構評価委員会は、地方独立行政法人法第28条の規定に基づき、地方独立行政法人福岡市立病院機構の平成25年度における業務実績の全体について総合的に評価を実施した。

評価に際しては、本評価委員会において、平成22年11月10日に決定した「地方独立行政法人福岡市立病院機構業務実績評価の方針」及び「地方独立行政法人福岡市立病院機構年度業務実績評価実施要領」に基づき評価を行った。

### 地方独立行政法人福岡市立病院機構評価委員会 委員名簿

	氏 名	職 名
委員 長	長 柄 均	福岡市医師会 副会長
副委員 長	松 田 晋 哉	産業医科大学医学部公衆衛生学教室 教授
委 員	佐 田 正 之	医療法人佐田厚生会佐田病院 院長
	野 口 久美子	福岡県看護協会 副会長
	吉 水 宏	公認会計士

## 第1項 全体評価

### 評価結果及び判断理由

#### 〈評価結果〉

第2期中期目標期間の初年度である平成25年度の業務実績に関する評価については、すべての小項目評価が「評価3」以上であることから、第1から第4の大項目評価はすべて「評価A」と判断した。

この大項目評価の結果を踏まえ、平成25年度においては、福岡市の医療施策として求められる高度専門医療・高度救急医療を提供するため、両病院において着実に医療機能の充実が図られるとともに、新規施設基準の取得などの積極的な増収対策や、徹底した費用削減の取り組みなどにより、結果として、各病院及び法人全体として経常黒字を達成し、独立行政法人化による改善が確実に行われていることから、平成25年度の業務実績は「全体として中期計画の実現に向けて計画を上回って進んでいる」と評価する。

#### 〈判断理由〉

こども病院・感染症センターにおいては、小児医療(高度・地域・救急)を担う小児総合医療施設として、高い水準の医療機能の維持に努め、福岡市民病院においては、地域医療計画における4疾病(がん、脳卒中、急性心筋梗塞及び糖尿病)への対応を中心に高度専門医療の更なる充実を図るとともに、救急部門の体制強化に積極的に取り組んでいる。

また、両病院ともに地域医療支援病院としての役割を踏まえて、積極的に地域の医療機関との連携強化に取り組んでいる。

さらに、理事長を中心に、両病院と事務局が一体となった経営体制を構築し、経営管理の徹底を図っている。

こうした取り組みの結果、新規施設基準の取得などによる増収に加え、診療材料等の調達にかかる価格交渉の徹底などによる費用削減により収支も向上し、経常黒字を達成しており、総務省が公表している公立病院改革ガイドラインにおける公立黒字病院の経営指標をほとんどクリアしている。

項目	評価項目数	ウェイトを考慮した項目数	小項目評価					大項目評価
			評価5	評価4	評価3	評価2	評価1	
第1 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置	14	24		9	15			A 計画どおり進んでいる
第2 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためとるべき措置	3	3			3			A 計画どおり進んでいる
第3 財務内容の改善に関する目標を達成するためとるべき措置	6	11		6	5			A 計画どおり進んでいる
第4 その他業務運営に関する重要事項を達成するためとるべき措置	2	4			4			A 計画どおり進んでいる
合計	25	42		15	27			

## 全体評価にあたって考慮した内容

### 〈主な取組みや特色ある取組み〉

こども病院・感染症センターにおいては、増床したICUの効率的なベッドコントロールにより、難易度の高い手術症例の受入れ増加と診療機能の更なる充実を図っている。

また、新病院における医療機能の強化に向け、計画的に医療従事者を確保し、また、一部業務を委託化することで医師及び看護師の事務処理の負担軽減を行うなど、新病院への円滑な移行準備を進めるとともに医療水準の向上を図っている。

福岡市民病院においては、医療法で定められた医療計画における4疾病への対応を中心に、特に脳神経領域における診療体制の強化を図るなど、高度専門医療の充実に努めるとともに、救急部門に救急指導医及び救急専門医を配置するなど、救急医療体制の強化を図った。また、第二種感染症病床の設置及び救急部門の機能拡充等に向け、別館建設工事に着手するなど、計画的に診療機能の強化・充実に取り組んでいる。

両病院ともに地域医療支援病院としての役割を果たすため、開放型病床への登録医の拡大やオープンカンファレンスの開催などを通じて地域の医療機関との連携強化に努めるとともに、より一層の接遇改善も含め、職員が一丸となって患者サービスの向上に取り組むとともに、ボランティアの協力も得ながら患者満足度の向上に努めている。

新病院については、本年11月の開院に向けて、建物完成までの施工確認・進捗管理を適切に行うとともに、万全の状態が開院できるよう運営体制面での準備を進めている。

### 〈特筆すべき取組み〉

増収対策として、こども病院・感染症センターにおいては、積極的、効率的な手術症例の受け入れに努め、また、治験業務を積極的に推進するとともに、感染対策室の設置及び専従の感染管理認定看護師の配置による感染防止対策加算1等の施設基準を取得することなどによって増収を図っている。

福岡市民病院においては、救急部門の体制強化や高度専門医療の拡充などによる救急搬送件数及び手術件数等の増加によって増収を図っている。

費用削減については、両病院ともに外部コンサルタントを活用した診療材料等の調達に係る価格交渉の徹底や、委託契約の見直しによる複数年契約の導入、ジェネリック医薬品の使用拡大等による費用削減に取り組んでいる。

この結果、法人全体として、経常黒字を達成している。

また、特に、こども病院・感染症センターについては、中期計画に基づく経営の効率化や健全化に取り組む、引き続き医業収支比率の目標を達成するなど、経営改善が順調に進んでいる。

### 評価にあたっての意見、指摘等

- ・周辺の医療機関に対する研修等を行う際には、資格取得等によりスキルアップした職員を講師として派遣し、周辺の医療機関へ貢献していただきたい。
- ・厚生労働省が公表している医療の質の評価に関する指標等のデータを取り入れ、定量的な比較についても記載すべきである。
- ・両病院ともに安定的な医療がなされている。福岡市民病院は救急搬送件数が増加するなど努力しており、こども病院・感染症センターは全診療科で対応し、充実したこども病院となっている。
- ・収支改善の評価については、平成25年度の経常損益の決算額は、予算に比べ大幅に上回っている点を考慮する。
- ・今後もできるだけ運営費負担金を軽減できるよう経費節減等に努められたい。
- ・他の公的病院と比較するための関連資料を掲載し、独立行政法人化の成果が確認できるようにすべきである。

## 第2項 項目別評価

### (1)大項目評価

第1 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置

評価結果 A (計画どおり進んでいる)

評価結果

「地域医療への貢献と医療連携の推進」「災害時等の対応」「患者サービスの向上」「病院スタッフの確保と教育・研修」の項目において、目標を上回る成果を上げているほか、ほとんどの項目で年度計画を順調に実施している。

評価結果	S 特筆すべき進捗 状況にある	A 計画どおり進ん でいる	B おおむね計画ど おり進んでいる	C やや遅れている	D 重大な改善すべ き事項がある
------	-----------------------	---------------------	-------------------------	--------------	------------------------

※ 評価A=小項目において全ての項目の評価が3~5

小項目評価の集計結果(評価した項目数)

項 目	評価 項目数	ウエイト を考慮 した 項目数	小項目評価				
			評価 5	評価 4	評価 3	評価 2	評価 1
1 医療サービス	5	9		5	4		
2 患者サービス	4	6		2	4		
3 医療の質の向上	5	9		2	7		
合 計	14	24		9	15		

評価判断理由

#### ①特筆すべき小項目評価

「1-(2)地域医療への貢献と医療連携の推進 ア こども病院・感染症センター」

紹介率、逆紹介率など全ての指標が目標値を上回っていることから、年度計画を上回って実施していると判断し、「評価4」とした。

「1-(2)地域医療への貢献と医療連携の推進 イ 福岡市民病院」

地域の医療機関との連携強化に積極的に取り組んだこと、また、指標として特に、逆紹介率の指標が目標値を大きく上回っていることから、年度計画を上回って実施していると判断し、「評価4」とした。

「1-(3)災害時等の対応」

災害発生時の危機管理体制の整備や防災訓練の実施に加え、福岡市民病院において、「第7回福岡メディカルラリー」で優勝したこと及び九州沖縄各県の主要8病院との間で「災害時における医療機関相互応援に関する協定」を締結するなど、災害対策の強化を図ったことから、年度計画を上回って実施していると判断し、「評価4」とした。

「2-(1)患者サービスの向上 イ 福岡市民病院」

患者満足度調査の平均評価点数が目標値を大幅に上回ったことや、外来機能の改善を順次図ったことなどにより、年度計画を上回って実施していると判断し、「評価4」とした。

「3-(1)病院スタッフの確保と教育・研修 ア こども病院・感染症センター」

人材確保が困難な中、必要な医師を確保したこと、外国人医師との技術交流を実施したこと及び医療技術職の資格取得により、専門性の向上や医療技術の向上を図ったことから、年度計画を上回って実施していると判断し、「評価4」とした。

②その他考慮すべき事項

特になし。

評価にあたっての意見、指摘等

- ・周辺の医療機関に対する研修等を行う際には、資格取得等によりスキルアップした職員を講師として派遣し、周辺の医療機関へ貢献していただきたい。
- ・厚生労働省が公表している医療の質の評価に関する指標等のデータを取り入れ、定量的な比較についても記載するべきである。
- ・両病院ともに安定的な医療がなされている。福岡市民病院は救急搬送件数が増加するなど努力しており、こども病院・感染症センターは全診療科で対応し充実したこども病院となっている。

第2 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためにとるべき措置

評価結果 A (計画どおり進んでいる)

評価結果

理事会の決定方針に沿った運営を行うとともに、院長のリーダーシップの下、現場の実態に即した機動性の高い病院経営を行っており、ほとんどの項目で年度計画を順調に実施している。

評価結果	S 特筆すべき進捗状況にある	A 計画どおり進んでいる	B おおむね計画どおり進んでいる	C やや遅れている	D 重大な改善すべき事項がある
------	-------------------	-----------------	---------------------	--------------	--------------------

※ 評価A=小項目において全ての項目の評価が3~5

小項目評価の集計結果(評価した項目数)

項 目	評価項目数	ウエイトを考慮した項目数	小項目評価				
			評価5	評価4	評価3	評価2	評価1
1 自立性・機動性の高い運営管理体制の充実	1	1			1		
2 事務部門等の専門性の向上	1	1			1		
3 意欲を引き出す人事・給与制度等の導入	1	1			1		
合 計	3	3			3		

評価判断理由

①特筆すべき小項目評価

特になし。

②その他考慮すべき事項

特になし。

評価にあたっての意見, 指摘等

特になし。



### 第3 財務内容の改善に関する目標を達成するためとるべき措置

評価結果 A (計画どおり進んでいる)

#### 評価結果

経営管理の徹底による効率的・効果的な経営を行うことにより、両病院及び法人全体としても運営費負担金繰入後の経常黒字が達成されており、年度計画を順調に実施している。

評価結果	S 特筆すべき進捗 状況にある	A 計画どおり進ん でいる	B おおむね計画ど おり進んでいる	C やや遅れている	D 重大な改善すべ き事項がある
------	-----------------------	---------------------	-------------------------	--------------	------------------------

※ 評価A=小項目において全ての項目の評価が3~5

#### 小項目評価の集計結果(評価した項目数)

項 目	評価 項目数	ウエイト を考慮 した 項目数	小項目評価				
			評価 5	評価 4	評価 3	評価 2	評価 1
1 経営基盤の強化	2	3			3		
2 収支改善	4	8		6	2		
合 計	6	11		6	5		

#### 評価判断理由

##### ①特筆すべき小項目評価

##### 「2-(1)増収 ア こども病院・感染症センター」

高額薬剤の使用件数の減少などにより外来単価が減少したものの、新規施設基準の取得などにより予算を上回る医業収益を確保するなど、年度計画を上回って実施していると判断し、「評価4」とした。

##### 「2-(2)費用削減」

人事管理や給与支給事務など、両病院に共通する業務については、本部事務局において集約して執行するなど、法人全体でより効果的な事業運営に努めるとともに、両病院においても年度計画に基づいて徹底した費用削減に取り組み、年度計画を上回って実施していると判断し、「評価4」とした。

##### 「2-(3)収支改善」

両病院において、年度計画に基づいた増収対策及び費用削減の取り組みを徹底し、収益の確保に努め、法人として予算を上回る当期純利益を確保していることから、年度計画を上回って実施していると判断し、「評価4」とした。

##### ②その他考慮すべき事項 特になし。

#### 評価にあたっての意見、指摘等

- ・収支改善の評価については、平成25年度の経常損益の決算額は、予算に比べ大幅に上回っている点を考慮する。
- ・今後もできるだけ運営費負担金を軽減できるよう経費節減等に努められたい。
- ・他の公的病院と比較するための関連資料を掲載し、独立行政法人化の成果が確認できるようにすべきである。

第4 その他業務運営に関する重要事項を達成するためとるべき措置

評価結果 A (計画どおり進んでいる)

評価結果

新病院に向けた取組みについては、平成26年11月の開院に向け着実に事業を推進するとともに、福岡市民病院の経営改善については、経常収支の黒字を達成するなど、年度計画を順調に実施している。

評価結果	S 特筆すべき進捗状況にある	A 計画どおり進んでいる	B おおむね計画どおり進んでいる	C やや遅れている	D 重大な改善すべき事項がある
------	-------------------	-----------------	---------------------	--------------	--------------------

※ 評価A=小項目において全ての項目の評価が3~5

小項目評価の集計結果(評価した項目数)

項 目	評価項目数	ウェイトを考慮した項目数	小項目評価				
			評価5	評価4	評価3	評価2	評価1
1 新病院の整備及び運営に関する取組	1	2			2		
2 福岡市民病院の経営改善の取組	1	2			2		
合 計	2	4			4		

評価判断理由

①特筆すべき小項目評価  
特になし。  
②その他考慮すべき事項  
特になし。

評価にあたっての意見, 指摘等

特になし。

(2)小項目評価 別紙のとおり